

サイの神さん

今回はかわった神様の紹介です。①の写真は、下阿井無木道路の大吉へぬける途中の旧下阿井村と大吉村の境の小さな峠にある「サイの神さん」（男神と女神が二人並ぶ）です。②の写真は大吉と吉田村の境にある「サイの神さん」（頭は男女各一つ、胴体は一つの変わった姿）です。「サイの神さん」は夫婦神として祀られるのが通例です。

「サイの神さん」は、塞神、道祖神又は道陸神（さえのかみ・どうそしん・どうろくしん）などと呼ばれる村境や辻に祀られている神で、本来、村の境にいて自分の村へ悪霊が入るのを防ぐ神ですが、又一方、村を出て旅行し人の行路に於ける、旅の安全を守る神でもあります。

この道祖神の信仰は、中国から伝わったもので、日本の古い書物「古事記」（七一二）の中に「サイの神さん」が書いてあり、ニニギの命の天下りの時の道案内役としての猿田彦命もサイの神さんとして書かれています。従って女神さんは猿田彦の妻とされる天宇受売神ということになります。

平安時代に一般の信仰として広がったと言われています。

す。

サイの神さんは、いろいろな他の信仰と結びついて、ふせぎの神のほか旅の足の神、出産の神、縁結びの神、子どもを守り神などとして拝まれて来られています。阿井地区内にもいくつかの道祖神があります。

わたし達の住む阿井の川辺にも道のべにも先人の心が残っています。その心の上に立って現在があることを忘れてないで生きたいものです。



写真1



写真2